

八峰町6月議会定例会

町長の行政報告をお知らせします



八峰町6月議会定例会が15日から17日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

東日本大震災を教訓に 津波ハザードマップを新規に作成

3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災により亡くなられた「八森字磯村の小林正さん」や多くの方々に対し、心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々には改めてお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当町では、この震災による直接の被害はほとんどありませんでしたが、長時間停電によってライフライン等に影響がありました。特に通信手段が途絶えたため、町民は不安な思いをしたところでした。幸い自家発電により防災無線が作動したため、町民に停電等の情報を知らせることができ、防災無線の重要性を改めて認識しました。

防災無線については、八森地区でまだデジタル化されていない地区があり、より確実に情報を提供するためにも、全町デジタル化を推進していきたいと考えており、これと合わせて屋外子局の増設も推進していきます。

この度の震災を教訓に、防災計画、防災マニュアルの見直しをする予定です。また、この度の震災の

特徴として、津波による被害が甚大であることから、津波ハザードマップを新規に作成します。

作成にあたっては、関係自治会の協力を得ながら、避難路や避難場所などの見直しを行い、反映させていきたいと考えており、関係自治会への説明会の際には、現時点での対応や、自治会や町内会単位で作る自主防災組織についても話し合いたいと考えています。

また、八峰町共同募金会と共同で募集した義援金は、6月14日現在で98万5千371円7角となっています。募金していただきました皆様の善意に心から感謝申し上げます。



春の全町一斉清掃 より一層のマナー向上を



春季の全町一斉清掃が4月17日に行われ、天候にも恵まれ早朝からたくさんの方々が参加してくださいました。

例年のように八森地区においては町内の側溝の泥上げや地域周辺の清掃を、峰浜地区においては地域の道路脇に捨てられている缶・ビン・ペットボトルなどを拾い集め、指定場所に運搬していただきました。

集められたごみは、可燃ごみが約1350kg、不燃ごみが約810kgで、昨年に比べると可燃ごみで約300kgの増、不燃ごみで約40kgの増と可燃・不燃ごみとも増加しており、

また、不法投棄された自動車のタイヤなどの粗大ごみも多く、引き続きマナーの向上や不法投棄防止の啓発に努めます。

むし歯予防対策 乳幼児へフッ素塗布



今年度からむし歯予防対策事業として、1歳から子ども園年長児までの乳幼児健診時に希望する乳幼児へのフッ素塗布に取り組んでいます。フッ素塗布は5月18日の3歳児健康診査時から始めていますが、保護者

からフッ素塗布に対する不安等の声もなく、当日は参加12名の幼児中、既に医療機関で受けている幼児やむし歯治療中で保護者が希望しなかった2名を除く10名が歯科衛生士からフッ素塗布を受け、当日未受診の幼児の中には、後日、別の幼児健診時に1名が塗布を受けるなど、フッ素塗布事業に保護者の方のご理解があると考えています。

八峰町食育計画 「八峰みんなの食育プラン」を作成

国では平成18年3月に食育推進基本計画を作成し食育推進に関する施策の基本的な指針等を定め、秋田県でも平成18年12月に秋田県食育推進計画を作成しています。これらを踏まえ、本町においても、町民一人ひとりが食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することを旨とし、食育を総合的・計画的に推進するため、八峰町食育推進計画を作成しました。

この計画作成にあたっては、町内子ども園児の保護者へ食に関連するアンケートを実施し町民の食に関する現状を調査しながら、策定委員会において、八峰町の食育のあるべき姿を「健やかな食生活」「食への感謝、

J-VER クレジットを取得 企業等へアピール

食文化の伝承「家族の団欒」「食の安心・安全、地産地消」の4つの分野から捉え、分野ごとに優先的に取り組むべき目標や目標値を定めるとともに、家庭、子ども園や学校、地域、行政等それぞれにおいて取り組むべき事項を定めています。(詳しくは12・13ページをご覧ください)

J-VER 制度とは、企業等が、排出する温室効果ガスの削減努力を行い、かつ、その削減が困難な部分を、他で実現した温室効果ガスの吸収量をクレジットという形で市場取引する制度です。

山林においては、間伐を実施することによって木の生長が促され、大気中の二酸化炭素を吸収する働きが増すこととなります。町では、平成19年度から22年度まで、真瀬沢町有林を中心に間伐を実施しましたが、その箇所について、J-VER クレジット取得に向け、昨年の7月より「白神山麓・八峰町有林J-VER プロジェクト」に取り組んできました。クレジットの取得に向け、計画書の作成やモニタリング調査を、環境省の助成事業を活用して進め、5



月31日に開催された認証委員会において、本プロジェクトのクレジットが認証されました。

今回、町が発行するJ-VER クレジットは3477t-CO2になります。今後は、発行するクレジットの販売について、企業等へのアピール活動を行い、積極的に販売に努めていきます。販売した収益は、町有林の森林整備促進、企業研修の場として町を活用してもらえようという取り組み、森林ボランティアの育成、林地残材のバイオマス活用など、自然再生につながる取り組みに活用していきたいと考えています。

※6月議会定例会に提出した主な議案は4ページ下段に掲載しています。